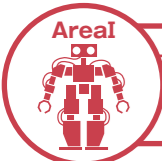


未来体験ツアー

「千葉工業大学 東京スカイツリータウン® キャンパス」は、研究活動を通じて生まれた最先端技術を応用した体感型アトラクションゾーンです。



Area I ロボット技術・人工知能ゾーン

1 災害対応ロボット

災害対応ロボットの実演!

福島第一原子力発電所に投入した国産ロボット第1号は千葉工業大学のレスキューロボットです。ゲームのコントローラーを使った簡単操作で、実演も行っています。災害時にコントローラーが故障してしまっても、家庭でお使いのゲームコントローラーを接続することで操作できるように作られています。



2 ON THE FLY PAPER

紙がタッチパネルに!

何の変哲もない紙のカードなのに、机の上におくと、カードに隠された研究成果が机の上に映し出されます。タブレットコンピュータのように指で操作できます。



300-Inch 3D Space Theater

大迫力!息もつかせぬ15分

巨大スクリーンと5.1chサラウンドで大迫力の映像を楽しめる3Dシアター。宇宙の誕生から現在までを15分で駆け抜けます。

形式:偏光フィルター型3D映像
スクリーンサイズ:300inch
画面比:16:9
メガネ:3Dメガネ着用
音声:5.1chサラウンド
上映時間:約15分



Area II 惑星探査ゾーン

1 国際宇宙ステーション 流星観測カメラシステム「メテオ」

国際宇宙ステーションの窓から流星を見よう

千葉工業大学惑星探査研究センター(PERC)では超高感度ハイビジョンカメラで国際宇宙ステーション(ISS)から流星を観測しました。



2019年
2月22日8時29分
小惑星リュウグウの
着陸に成功!

2 小惑星探査機「はやぶさ2」

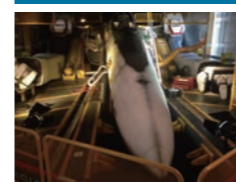
2018年6月に小惑星「リュウグウ」に到着した探査機

観測装置を用いて「リュウグウ」の姿を明らかにするだけでなく、人工クレーター生成や、表面試料の採取も行いました。2020年冬に地球に試料を持ち帰り、新たなミッションに出發しました。



7 実物大「バルキリーVF-25F」(マクロスF) Life-Size Macross Frontier Valkyrie VF-25F

「マクロスF」の主演メカ「バルキリーVF-25」の実物大が展示!



6 アストロゲート Astrogate

「さあ、宇宙の扉は開きたいぞ!」



5 太陽系グランドツアー Solar System Grand Tour

太陽系を探査せよ!

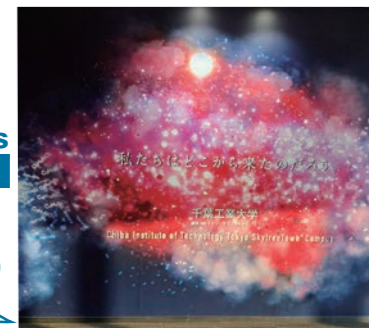
大迫力の120インチタッチパネルで、太陽系のグランドツアーに出かけよう。8つの惑星をはじめとする太陽系の主要構成天体や惑星探査ミッションを巡ります。これまでの研究や探査で得られた太陽系の数々の美しい画像や最新情報に自らの手でアクセスできます。さあ、太陽系のバーチャルツアーを体験しよう!



4 壁面グラフィック Wall Graphics

「宇宙からヒトへ」

千葉工業大学
スカイツリータウンキャンパスの
記念撮影スポット!



9 Hallucigenia 01

8つのホイールをもつ次世代の多目的乗用車



8 morph

高い機能性をもつ人型ロボット!

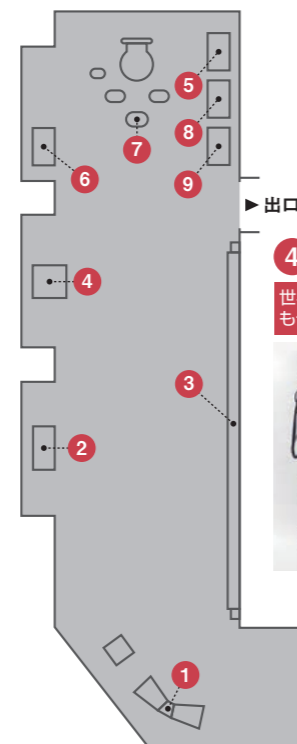
「極限まで機能性を追求したボディ」の実現を目指したmorph3は、陸上選手が贅肉をそぎ落としたかのようなメタルスリートです。



7 ハナノナ

人工知能が花を見分ける?

幼児は目にするものの名前を周囲の人から教わりながらモノの名前を憶えていきます。コンピューターもたくさん人の例を見せることで名前を分かるようにさせることが可能になりました。大量の訓練データと深層学習を応用して約40万枚の花の写真を用いて花の種類を判定する人工知能を開発。約800種類の花を分類することができます。ハナノナ=花の名です。



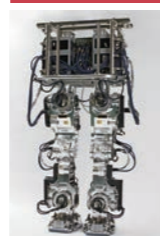
3 超巨大ロボティックスクリーン

超巨大画面でロボットの解剖・設計図の操作を体験してみよう!



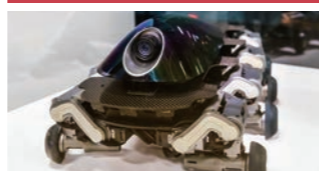
4 core

世界最大級可搬重量性能をもった二足歩行ロボット



5 Halluc II, Halluc IIX

3つのモードに変形し、あらゆる方向に移動する未来の乗り物!



6 CYBER WHEEL X

車いすマラソンを体験できるVRエンターテインメントです

ハンドリム(車輪をまわす握り部分)は、コースのアップダウンに連れて重さが変わるよう制御されています。

